

# 成功者の心得<sup>上</sup>

## 世界最強！華僑のお金術

成功の基準は人それぞれですが、主観的にも客観的にも一番わかりやすいのが「お金」です。エリートでなくても、お金

持ちになれば世間の評価が変わりますし、過去の苦勞や失敗さえもプラスに転じるのです。

大金持ちになれるかどうかは別として、お金の成功は年齢や経歴などに関係なく、ほぼ誰にでも可能性ががあります。若いころに選択を誤ったとしても逆転のチャンスはあるわけです。

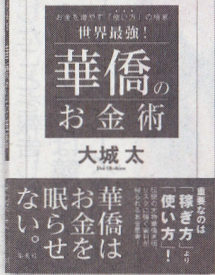
とはいえ、望んでもお金持ちにならない人が多いのも事実。それはなぜなのか？ というところで、今日と明日の2回に分けて、最新の拙著『世界最強！華僑のお金術』から、お金の達人である華僑に学んだ「成功者の心得」をお伝えしたいと思います。

10年ほど前になり

ますが、エリート社員ではなかった私はお金で成功したいと思い、ある大物華僑に弟子入りしました。華僑社会に飛び込んで一番驚いたのは、華僑たちがお金持ちになるスピードです。

華僑の多くは貧乏からの逆転を狙って祖国を離れた人ですので、最初はビジネス資金などありません。中華料理店の皿洗いや深夜のビル清掃など、いわゆる3Kの仕事からスタートするケースがほとんど。そこからほんの2-3年でお金持ちになるのを見れば誰だって驚くでしょう。

私は彼らを観察する中で非常にシンプルな成功法則を発見しました。それは徹底して「普通」を避けることです。



# 徹底して「普通」を避ける

まず彼らは、一般的な日本人が持っている「普通のモノ」にお金を使いません。

ある程度お金に余裕ができて「普通になりたくないから普通のモノは要らない」と言って安アパートに住み、車も持たず、質素な生活を続けます。その間せっせと貯金をしているのかと思いきや、ほとんど貯金はしません。ビジネスへの投資や不動産購入の頭金などに優先的にお金を使うの

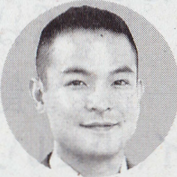
そんな華僑がモノを買う時、それは投資したお金を回収して何でも買える状態になった時です。昨日まで質素な生活をしてきたのに今日はブランドものに身を包み、大型ベンツに乗ってさっそうと現れる。驚愕の大変身を私は幾度となく目の当たりにしました。貧乏とお金持ちの間にある「普通」のぬるま湯に浸らないからこそ、飛び級的に

日本人は「普通」でいることで安心し、普通でないことを怖がり、普通でない人やモノを遠ざける傾向がありますが、普通を基準にしている人が普通でない成功を手に入れる確率は低いのです。

おもしろ・だい アジアでビジネスを展開する6社の代表。脱サラ・起業するにあたり大物華僑に師事。日本人で唯一の弟子として門外不出の成功術を直伝される。独立後、社長1人アルバイト1人で初年度年商1億円を達成、若き華僑・宋とともに医療機器メーカーを設立。著書に『世界最強！華僑のお金術』（集英社）、『失敗のしようがない華僑の起業ノート』『一生お金に困らない「華僑」の思考法則』（ともに日本実業出版社）がある。

「普通」を避けてみてはいかがでしょうか。

(大城太)



おもしろ・だい アジアでビジネスを展開する6社の代表。脱サラ・起業するにあたり大物華僑に師事。日本人で唯一の弟子として門外不出の成功術を直伝される。独立後、社長1人アルバイト1人で初年度年商1億円を達成、若き華僑・宋とともに医療機器メーカーを設立。著書に『世界最強！華僑のお金術』（集英社）、『失敗のしようがない華僑の起業ノート』『一生お金に困らない「華僑」の思考法則』（ともに日本実業出版社）がある。